

鹿児島医療生協「おたがいさま」活動についてのQ&A

Q：鹿児島医療生協の取り組みは、全拠点でされているのですか？

A：健康づくりやまちづくり活動は、全39支部（拠点）で取り組みをすすめています。居場所については、13地域（15支部）で定期開催しています。

Q：くらしコーディネーターはどんな人がどのようなカリキュラムを経てなれるのですか？

A：鹿児島医療生協で主任ケアマネージャーとして勤務していた社会福祉士を配置しています。カリキュラムは特にありません。

Q：ふれあい会食は外食にすることがありますか？

A：ふれあい会食は鹿児島市の委託事業ですので外食はしていません。

Q：つながりマップはどこまで作ってどこまでは作らないと線引きして、どのように工夫されているのでしょうか？

A：特に線引きはせず作成しています。マップ作成の目的は、支部によって高齢者であったり、防災であったり様々なマップが作られています。

Q：各団体の広報をどのようにされているのでしょうか？

A：組合員に配布している機関紙（約65,000部）やホームページ、地域での健康まつり等で広報しています。

Q：フレイル予防とは何ですか？

A：介護が必要となる前段階である虚弱（身体的、社会的、精神的）を防ぐ取り組みのことです。栄養不良、筋力低下、社会参加の減少により虚弱がすすむといわれています。

Q：医療生協のくらしのサポーターについて、養成講座の内容を教えてください。

A：養成講座の内容は、これからの社会情勢について、くらしのサポーターについて、相談（困った）の解決をめざして、おたがいさまシートの活用について、身近な社会資源について等です。